

特集 平成27年の家計消費の概要（家計調査年報より）

長崎県県民生活部統計課

家計調査は、全国168市町村で、標本調査の方法に基づき抽出された約9,000世帯を対象に、毎日の収入と支出を家計簿に記入していただくことによって、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにするための調査で、昭和21年から実施されている。

本県においても、長崎市（104世帯）、佐世保市（39世帯）、平戸市（13世帯）が調査地域として総務省より指定されている。

調査結果は、我が国の景気動向の把握、生活保護基準の検討、消費者物価指数の品目選定及びウエイト作成などの基礎資料として利用されているほか、地方公共団体、民間の会社、研究所あるいは労働組合などでも幅広く利用されている。

「平成27年家計調査年報」にて公表された、県庁所在市である長崎市の家計消費（二人以上の勤労者世帯）の概要は以下のとおりである。

1. 家計の収入と支出

平成27年の長崎市の勤労者世帯（いわゆるサラリーマン世帯）の実収入（1か月の平均値：以下各項目同じ）は449,222円で、前年に比べ名目3.1%、実質1.8%の増加となった。また、消費支出は287,211円で、名目7.1%、実質8.3%の減少となった。

全国の勤労者世帯の実収入は525,669円で、前年に比べ名目1.1%、実質0.1%の増加となった。また、消費支出は315,379円で、名目1.1%、実質2.0%の減少となった。

勤 労 者 世 帯	長 崎 市	全 国
集計世帯数	41世帯	3,904世帯
世帯人員	3.45人	3.39人
有業人員	1.63人	1.73人
世帯主の年齢	49.3歳	48.8歳
実収入	449,222円	525,669円
名目増減率	3.1%	1.1%
実質増減率	1.8%	0.1%
消費支出	287,211円	315,379円
名目増減率	7.1%	1.1%
実質増減率	8.3%	2.0%
可処分所得	365,908円	427,270円
名目増減率	1.9%	0.9%
実質増減率	0.6%	0.1%

注) 長崎市においては調査世帯が少なく、結果が大きく変動することがあります。

実収入：いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの

消費支出：いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額

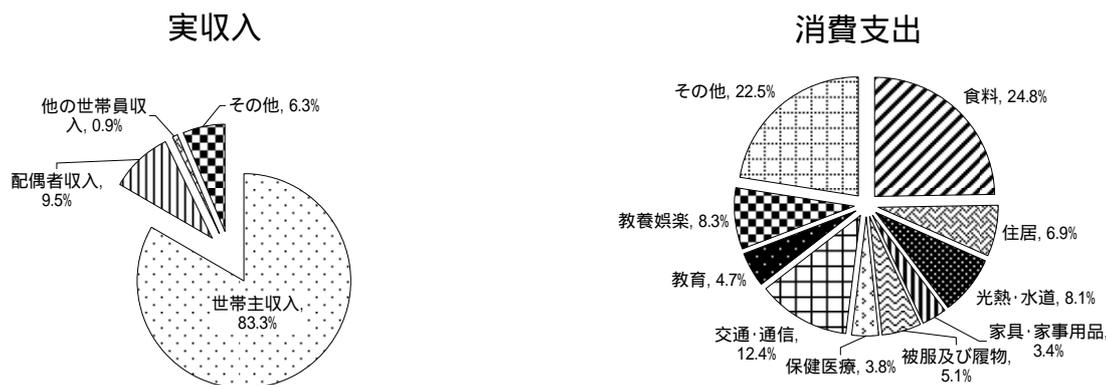
可処分所得：実収入から税金、社会保険料等の非消費支出を引いた、いわゆる手取り収入

名目増減率：実際に支出した金額の伸び

実質増減率：消費者物価の変動分を除いた支出金額の実質的な伸び

(実質増加率 = (100 + 名目増減率) ÷ (100 + 消費者物価増減率) × 100 - 100)

勤労者世帯の実収入と消費支出の内訳（長崎市）



実収入（1ヶ月の平均収入）の推移（全国、長崎市）

（単位：円）

	平成 17 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
全国	524,585	510,117	518,506	523,589	519,761	525,669
長崎市	363,769	408,140	403,123	477,193	435,732	449,222

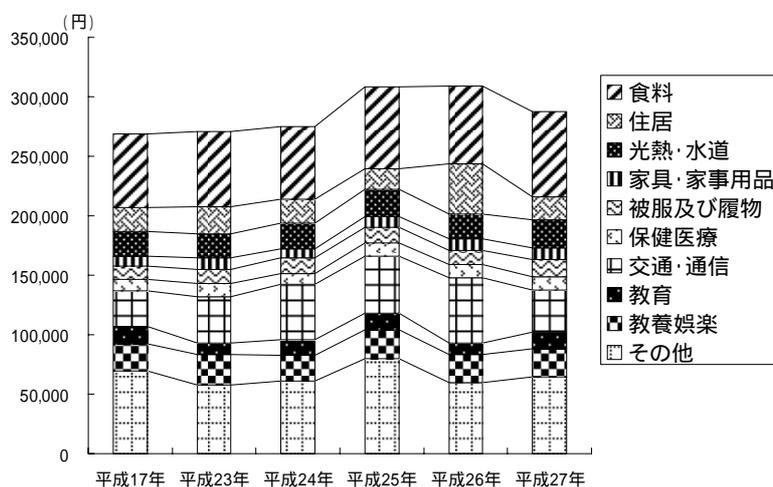
平成 27 年の長崎市の実収入は、平成 17 年と比較すると 23.5% 増加している。

勤労者世帯 10 大費目消費支出の推移（長崎市）

（単位：円）

	平成 17 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
食料	61,923	63,077	61,276	68,515	65,525	71,131
住居	20,111	23,115	20,417	17,712	42,067	19,738
光熱・水道	20,526	20,611	21,483	22,726	21,231	23,407
家具・家事用品	8,374	9,189	7,761	9,175	9,296	9,702
被服及び履物	11,613	11,739	12,662	13,127	12,340	14,689
保健医療	9,104	11,598	9,017	11,027	10,774	10,876
交通・通信	29,956	38,450	46,900	47,818	55,333	35,713
教育	14,619	10,196	13,009	14,194	9,203	13,631
教養娯楽	22,767	25,127	21,457	24,328	24,052	23,696
その他	69,784	57,956	61,332	79,525	59,474	64,628
消費支出計	268,777	271,058	275,314	308,147	309,296	287,211

近年の消費支出の傾向としては、スマートフォンの普及に伴い、交通・通信費の増加が挙げられる。平成 17 年と平成 27 年を比較すると、交通・通信費は 2 割程度増加している。平成 26 年と比較すると、交通・通信費は大幅に減少しているが、これは、平成 26 年 4 月の消費税増税の前後で、自動車等購入金額の変動が大きかったことが要因として考えられる。



2. 家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量

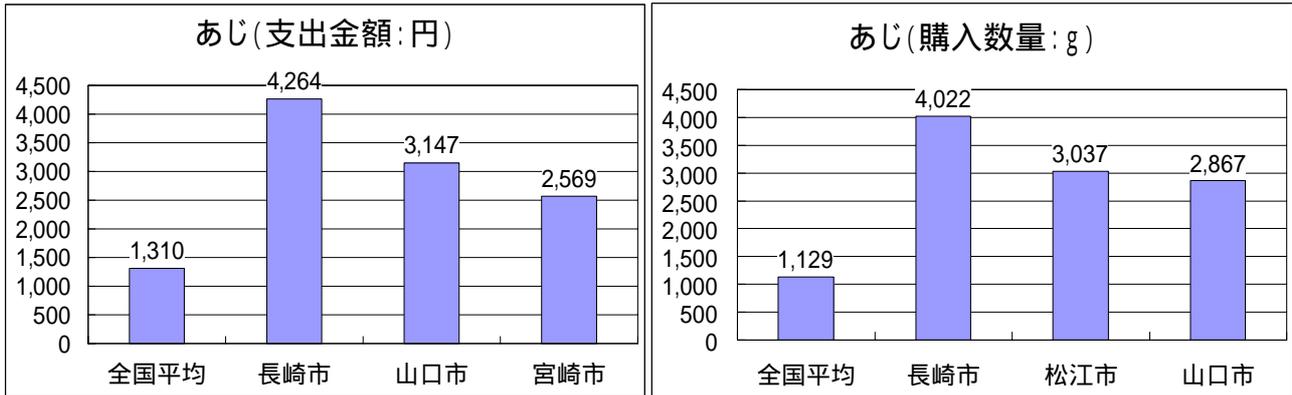
我が国は、南北に長い国土を持ち、地方ごとの異なる文化や風土の下、地方によって家計における消費の内容は大きく異なると言われている。

そこで、家計調査年報 家計収支編 平成27年から、長崎市の支出金額や購入数量について、特徴的な品目を取りあげてみた。

(以下、全て1世帯当たり年間の支出金額、購入数量(二人以上の世帯))

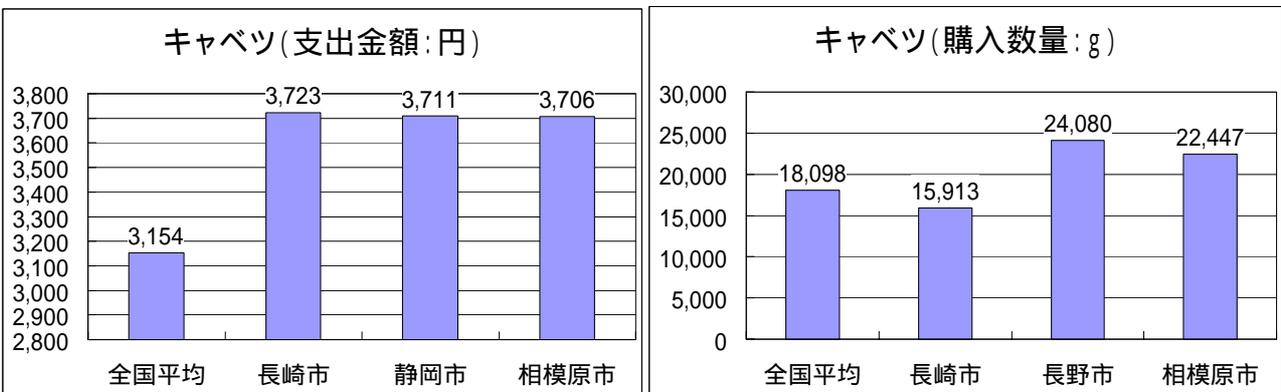
あじ(支出金額、購入数量)

あじは支出金額、購入数量ともに全国一であった。支出金額は4,264円で全国平均1,310円の約3.3倍、購入数量は4,022gで全国平均1,129gの約3.6倍であった。



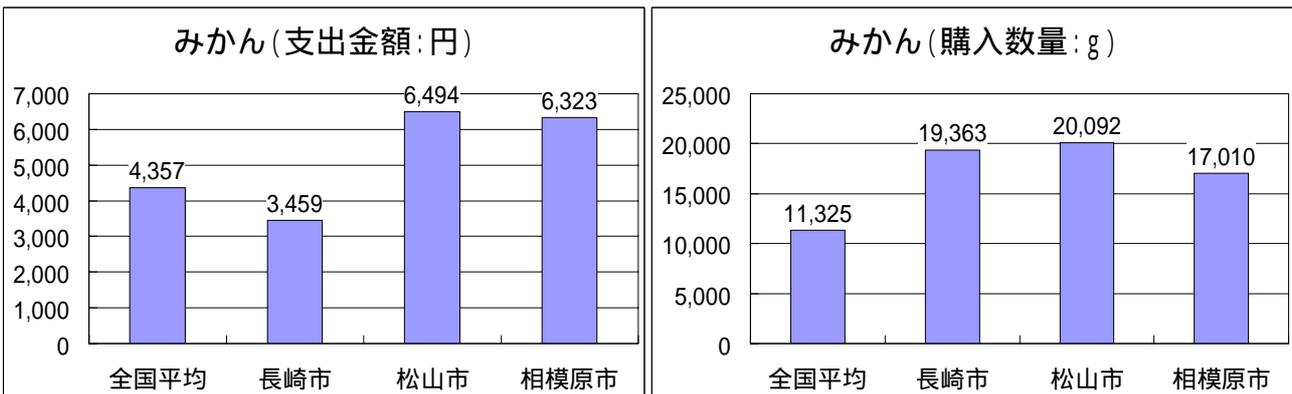
キャベツ(支出金額、購入数量)

平成27年のキャベツの支出金額は3,723円であり、全国一であった。ただし、購入数量は全国平均18,098gを下回っており、価格が高いものと推測される。



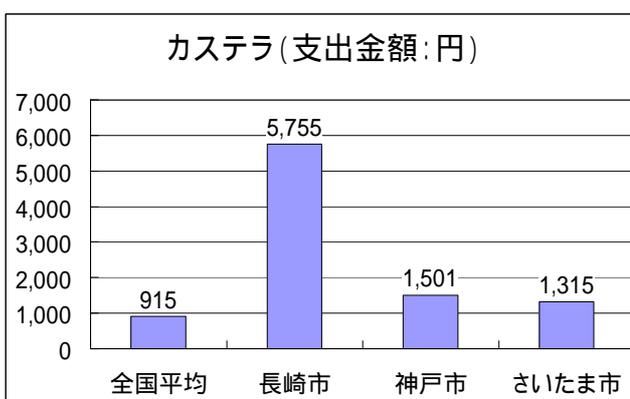
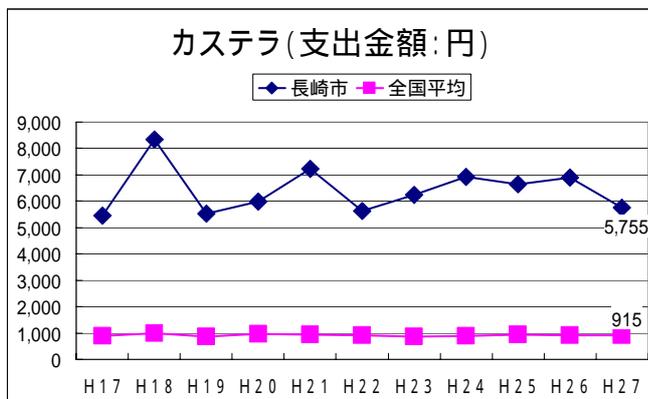
みかん(支出金額、購入数量)

みかんにおいては、購入数量が19,363gと松山市に次いで多かったが、支出金額は全国平均4,357円を下回った。長崎市においては価格が低いものと推測される。



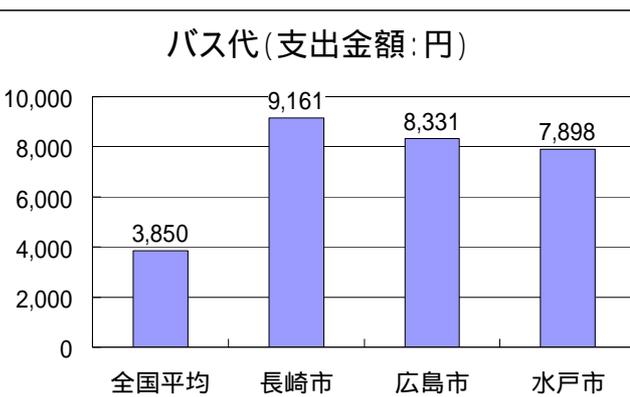
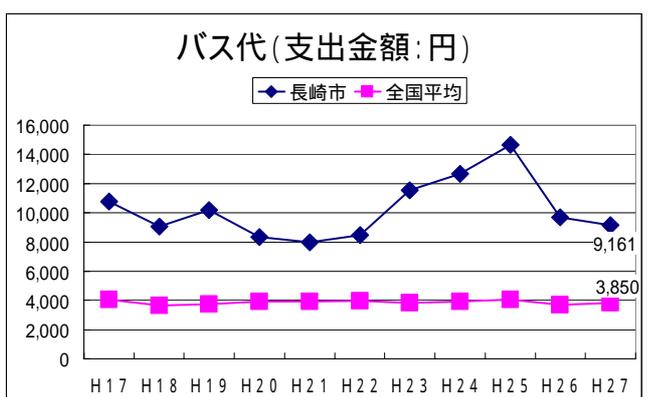
カステラ（支出金額）

カステラの支出金額は、毎年、高い水準で推移しており、総務省統計局が結果を公表している平成17年以降、一貫して全国一の支出金額となっている。カステラは長崎を代表する菓子であり、贈答品としても需要がある。平成27年のカステラの支出金額は5,755円で、全国平均915円の約6.3倍であった。



バス代（支出金額）

バス代の支出金額は、平成25年をピークに減少しているものの、毎年、高い水準で推移しており、平成23年以降は全国一の支出金額となっている。長崎市内は坂や階段の多い地形となっており、公共交通機関を利用する頻度が高いものと思われる。平成27年のバス代の支出金額は9,161円で、全国平均3,850円の約2.4倍であった。



3. 平成27年の家計をめぐる主な出来事

地方自治体が「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した、プレミアム付商品券を順次販売

ふるさと納税の控除上限額拡大（1月）

世界文化遺産に長崎県の「軍艦島」を含む「明治日本の産業革命遺産」が登録決定（7月）

介護サービス利用料の負担割合が、一定の所得がある場合、原則1割から2割に（8月）

6年ぶりとなる秋の大型連休「シルバーウィーク」、国内旅行が特に人気（9月）

訪日外国人旅客数が、前年（2014年）の1341万3千人を600万人以上上回る1973万7千人と過去最高

家計調査年報は、家計調査で得られたデータを基に、総務省統計局が公表しています。家計調査年報は長崎県県民生活部統計課内の統計資料室で閲覧できる他、政府統計の総合窓口 e-stat (<http://www.e-stat.go.jp/>) からもご覧いただけます。